

## 日本小児感染症学会若手会員研修会第5回福島セミナー

## はじめに

田中敏博\* 笠井正志\* 橋本浩一\* 多屋馨子\*

2010年に水戸で第1回を開催して始まった日本小児感染症学会若手会員研修会（通称、若手セミナー）は、長野・安曇野の地での第2~4回を経て、今回第5回目を迎えるにあたり、福島・磐梯熱海の地に新たな展開を求めることとなりました。

例年通り、その顛末=内容はもとより、参加者が磐梯熱海で何を学んだか、どんな活動をしたか、どんなに盛り上がったか、は一連の記載、報告から感じとっていただければ幸いです。例年以上に熱い2日間であったことだけは間違いないと、太鼓判を押します！

「小児感染症学/免疫学を志す若手医師に、その基礎と最新の知見を学ぶ機会を提供することにより、将来のこの領域を背負って立つ人材を育成す

ることを第一義とする。あわせて、お互いの親交を深め、情報交換と今後にわたる連携の礎を築くことを期待する」というセミナーの理念は受け継がれ、また着実に実を結びつつあると感じます。毎年の学術集会で、かつての参加者と次々に再会するのみならず多くの発表を目にし、皆さんの活躍を頼もしく思うばかりです。

今回は、細矢光亮教授のご理解とご厚意の下、橋本浩一先生率いる福島県立医科大学小児科のスタッフの皆様に、セミナーを全面的に支えていただきました。また、学会事務局の楠さんには、諸々の手続きをはじめとして、本セミナーに関してはほぼ通年でお世話になっています。この場を借りて皆様に深謝いたします。

\* \* \*

---

\* 日本小児感染症学会研究教育委員会若手セミナー事務局